

令和5年度 第1回駒ヶ根市地域公共交通協議会 次第

【日 時】令和5年6月22日（木）午後3時

【場 所】駒ヶ根市役所 本庁舎2階 大会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 自己紹介

5 協議事項

(1) 令和4年度事業

①事業報告

資料1

②決算報告・会計監査報告

資料2

資料3

③こまタク運行実績

資料4-1

資料4-2

④運転免許証自主返納支援事業実績

資料5

⑤割引タクシー券・福祉タクシー券実績

資料6

資料7

(2) 駒ヶ根市地域公共交通計画 設定目標に対する評価

資料8

(3) 駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務委託契約（案）

資料9

5 報告事項

(1) 駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画について

資料10

(2) いいちゃんバスの利用状況について

資料11

(3) 山麓周遊バス社会実証実験事業

資料12

6 その他

7 閉 会

令和5年度駒ヶ根市地域公共交通協議会 委員名簿

協議会役職	委員	氏名	役職	備考
会長	駒ヶ根市	伊藤 祐三	市長	
副会長	駒ヶ根商工会議所	春日 俊也	副会頭	商工
	伊那バス株式会社	藤澤 洋二	代表取締役社長	バス事業者
	中央アルプス観光株式会社	伊東 俊弘	自動車事業部長	バス事業者
	伊南乗用自動車有限会社	久保田 武彦	代表取締役	バス事業者・県タクシー協会
	赤穂タクシー有限会社	坂元 洋	代表取締役	県タクシー協会
	こまくさ観光株式会社	岩本 光市	代表取締役	バス事業者
	長野県伊那建設事務所	長谷川 哲郎	維持管理課長	道路管理者
	駒ヶ根警察署	和田 直	署長	公安・警察
	駒ヶ根市区長会	佐藤 昌利	上赤須区長	地域代表
	駒ヶ根市区長会	平澤 健治	町2区区長	地域代表
監事	駒ヶ根市区長会	竹村 真春	中沢区区長	地域代表
	駒ヶ根市高齢者クラブ連合会	下平 正躬	交通安全防犯対策部長	利用者
	市民委員	村瀬 俊幸		利用者
	市民委員	肥野 みさを		利用者
	伊那バス労働組合	鈴木 正満	組織部長	労働団体
監事	駒ヶ根観光協会	小原 昌美	事務局長	観光
	駒ヶ根市社会福祉協議会	堀越 晃滋	次長	福祉
	国土交通省 北陸信越運輸局	玉巻 史成	交通企画課長	地方運輸局
	国土交通省 北陸信越運輸局長野運輸支局	山岸 康範	首席運輸企画専門官	地方運輸局
	長野県企画振興部交通政策局	丸山 正徳	交通政策課長	長野県
	長野県上伊那地域振興局	鳥羽 秀行	企画振興課長	長野県

(23名)

関係職員	駒ヶ根市総務部	吉澤 一義	総務部長	所管部
関係職員	駒ヶ根市建設部	宮下 佳和	建設課長	道路管理者
関係職員	駒ヶ根市民生部	野村 隆二	福祉課長	福祉所管課
関係職員	駒ヶ根市教育委員会	赤羽 知道	子ども課長	小中学校所管課

事務局長	駒ヶ根市総務部企画振興課	久保田 浩人	企画振興課長	所管課
事務局員	駒ヶ根市総務部企画振興課	小池 貴彦	地域政策係長	所管課
事務局員	駒ヶ根市総務部企画振興課	唐澤 恵介	地域政策係	所管課

令和 4 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 事業報告

年 月 日	内 容
R4. 6. 23	書面協議 ・駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画（案）
R4. 7. 12	第 1 回協議会（会場：駒ヶ根市役所 大会議室） ・令和 3 年度事業報告及び決算報告 ・駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の設定目標に対する評価 ・こまタク、割引タクシー券等利用実績の報告 ・運転免許証自主返納支援事業の実績報告
R4. 8. 23～ 8. 30	こまタク利用促進番組の制作・放映 ・こまタクの紹介 ・こまタクの利用方法（登録・予約～乗車）
R4. 9. 10～ 9. 23	環境配慮型モビリティ実証実験（山麓周遊 EV バス実証実験） 実施 ■停留所 菅の台バスセンター、光前寺、家族旅行村、養命酒健康の森、本坊酒造 ■運行内容 1 日 4 便 1 周約 1 時間 運賃無料、予約不要 乗車数 計 691 人 49 人/日
R4. 9. 21	書面協議 ・令和 4 年度下半期 デマンド交通運行業務委託業者（案）について
R4. 10. 21	書面協議 ・こまタク運行計画変更（案）について
R4. 11. 17	AI による自動配車システム導入 ・アプリ、ネットにより 24 時間予約可能になった
R4. 12. 1	こまタク運行計画変更 ・停留所のエリア限定を廃止 ・停留所変更 （廃止）駒ヶ根総合文化センター、下平けやき診療所、花の道クリニック （追加）中谷内科医院、神戸医院 ・運行時間一部変更 往路便 旧) 午前 8 時便 → 新) 午前 8 時 30 分便 復路便 旧) 午後 2 時便 → 新) 午後 1 時 30 分便 ・予約受付時間変更 旧) 往路便：前日の午後 4 時 30 分 復路便：当日の運行の 2 時間前まで

	<p>新) 往路便・復路便：前日の午後 4 時 30 分まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便利なお知らせサービス <p>①乗車予約前日にお知らせ</p> <p>②こまタクの到着を 5 分前にお知らせ</p>
R4. 12. 14	<p>書面協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (案) について
R5. 1. 30	<p>第 2 回協議会 (会場：駒ヶ根市役所 大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度 山麓周遊実証実験 (EV バス実証実験) ・ 令和 4 年度 こまタク運行予約システム実証実験 ・ 令和 5 年度 観光周遊バス実証実験 (案) ・ 令和 5 年度 上半期デマンド交通運行業務の委託業者 (案)
R5. 3. 27	<p>第 3 回協議会 (会場：駒ヶ根市役所 大会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年度 こまタク運行状況 ・ 令和 4 年度 運転免許証自主返納支援事業 ・ 令和 5 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会事業計画 (案) ・ 令和 5 年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会予算 (案) ・ 令和 5 年度 観光周遊バス実証実験 (案)

令和4年度 駒ヶ根市地域公共交通協議会 決算書

(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日)

資料2

1 歳入

(単位：円)

項目	当初予算額	補正予算額	合計 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	内容
1 負担金	38,462,000	0	38,462,000	36,635,750	▲ 1,826,250	
1 市負担金	38,462,000	0	38,462,000	36,635,750	▲ 1,826,250	■駒ヶ根市負担金 36,635,750
2 繰越金	0	0	0	0	0	
1 繰越金	0	0	0	0	0	
3 預金利子	0	0	0	35	35	
1 預金利子	0	0	0	35	35	■預金利子 35
4 雑入	5,000,000	0	5,000,000	5,898,000	898,000	
1 雑入	5,000,000	0	5,000,000	5,898,000	898,000	■地域内フィーター系統確保維持費国庫補助金 5,898,000
歳入合計	43,462,000	0	43,462,000	42,533,785	▲ 928,215	

2 歳出

(単位：円)

項目	当初予算額	補正予算額	合計 (A)	決算額 (B)	比較 (B-A)	内容
1 総務費	5,250,000	0	5,250,000	6,050,350	800,350	
1 会議費	230,000	0	230,000	135,300	▲ 94,700	■協議会委員報酬 135,300
2 事務費	5,020,000	0	5,020,000	5,915,050	895,050	■国庫補助金相当額支払 (駒ヶ根市) 5,898,000 ■振込手数料 17,050
2 事業費	38,212,000	0	38,212,000	36,483,435	▲ 1,728,565	
1 事業推進費	38,212,000		38,212,000	36,483,435	▲ 1,728,565	■デマンド交通運行委託費 (※) 22,546,035 ■デマンド交通受付業務補助金 4,287,523 ■デマンド交通専用車両管理費 389,053 ■地域公共交通計画事業支援委託費 1,100,000 ■公共交通利用啓発促進事業 23,540 ■環境配慮型モビリティ実証実験事業費用 3,409,484 ■デマンドシステム実証実験事業費用 4,727,800
2 広報費	0	0	0	0	0	0
3 予備費	0	0	0	0	0	
1 予備費	0	0	0	0	0	
歳出合計	43,462,000	0	43,462,000	42,533,785	▲ 928,215	

※運行委託費 = 運行経費 - 運賃収入

3 収支

(単位：円)

区分	決算額	備考
歳入総額	42,533,785	
歳出総額	42,533,785	
歳入歳出差引額	0	

会計監査報告書

令和4年度駒ヶ根市地域公共交通協議会歳入歳出決算について、監査を実施し、関係書類を精査した結果、適正かつ正確に処理されていたことを報告します。

令和5年6月12日

駒ヶ根市地域公共交通協議会

監事 竹村 真春 印

監事 小原 昌美 印

※両監査員には、報告書に押印・自署いただいておりますが、個人情報保護（印影）のため、原本の添付は差し控えております。

令和4年度 こまタク(こまがねデマンド型乗合タクシー)運行実績

(1)純利用実績(令和5年3月31日現在)

① 男女別 (人)

	R03	R04	割合
男	53	57	24%
女	179	184	76%
計	232	241	100%

※R03年度対比:+9人

② 年齢別 (人)

	R03	R04	割合
～59歳	13	11	5%
60～69歳	12	14	6%
70～79歳	43	45	19%
80～89歳	134	136	56%
90歳～	30	35	15%
計	232	241	100%

※2023.3.31時点の年齢で算出

③ エリア別 (人)

エリア	R03	R04	割合
アイウ	87	103	43%
エオ	145	138	57%
計	232	241	100%

< まとめ >

- ① ・女性の利用者が約80%
 - ・割合:前年度から大きな変化はなし
 - ・純利用者数:対前年比+9人
- ② ・70歳以上の利用者が90%
 - ・80歳以上の利用者が70%
 - ・割合:前年度から大きな変化はなし
- ③ ・竜東エリア中心に増加
 - 一方、竜西エリアは減少
 - ・全体的には微増

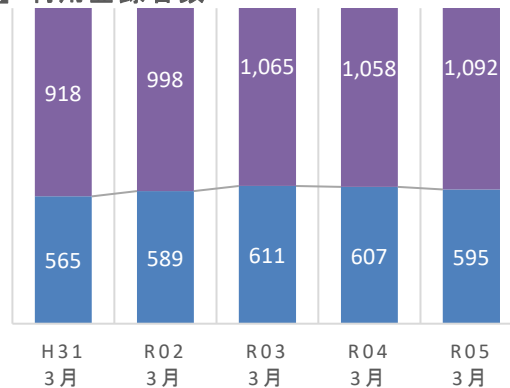
(2)利用実績(令和5年3月31日現在)

【A】利用登録者数 (人)

エリア	H31 3月	R02 3月	R03 3月	R04 3月	R05 3月
アイウ	565	589	611	607	595
エオ	918	998	1,065	1,058	1,092
計	1,483	1,587	1,676	1,665	1,687

※R4年3月対比:+22人

【A】 利用登録者数



【B】純利用者数 月平均 (人)

	H30	R01	R02	R03	R04
計	152	143	119	117	118

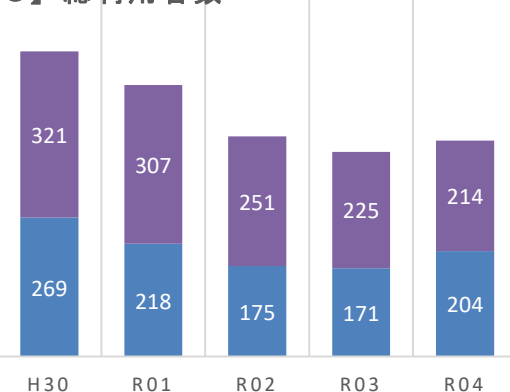
※R03年度対比:+1人

【C】総利用者数 月平均 (人)

エリア	H30	R01	R02	R03	R04
アイウ	269	218	175	171	204
エオ	321	307	251	225	214
計	590	525	426	396	418

※R03年度対比:+22人

【C】 総利用者数



【D】1便当たり平均乗車人数

エリア	H30	R01	R02	R03	R04
ア					
イ	2.5	2.1	1.6	1.6	2.2
ウ					
エ					
オ	2.3	2.3	1.9	1.7	2.1
平均	2.4	2.2	1.8	1.7	2.2

※R03年度対比:+0.5人

【E】各停留所の利用状況

停留所名	利用者数
昭和病院	794
前澤外科内科CL	287
山村眼科整形	1,679
つちかね整形	169
駒ヶ根駅	340
郵便局	84
市役所	152
文化C	206
ふれあいC	14
Aコープ駒ヶ根	337
ベルシャイン	469
デリシア駒ヶ根店	180
駒ヶ根泌尿器科CL	28
木下医院	36
けやき診療所	0
神戸医院	25
JA駒ヶ根東	1
中沢支所	1
すこやかCL	22
マルトシ東伊那	18
東伊那支所	0
秋城医院	27
かしの実CL	16
花の道CL	0
中谷内科医院	88
高山内科CL	22
座光寺内科CL	2
須田医院	22

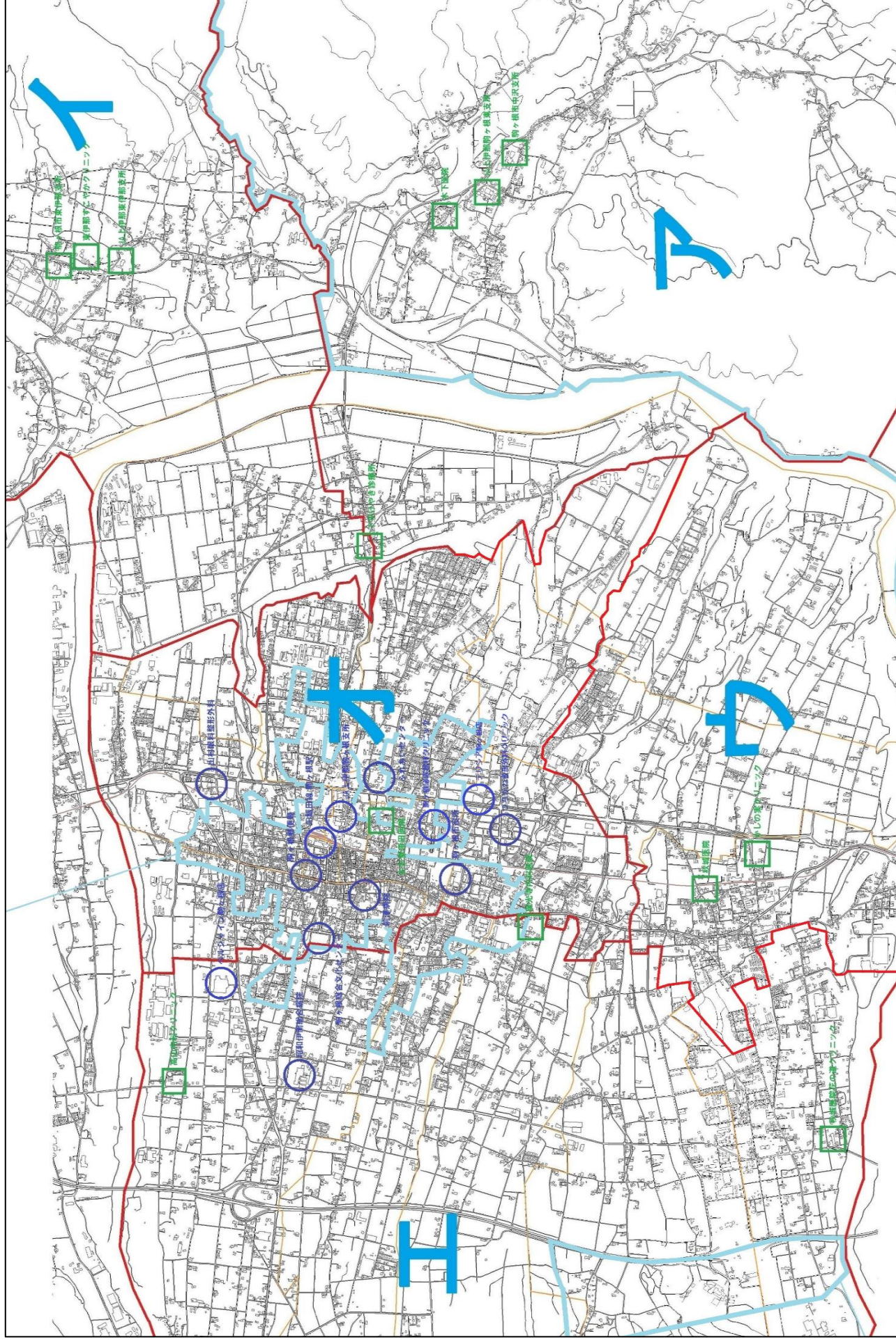
共通停留所

< まとめ >

- 【A】 利用登録者数:対前年度末比+22人
- 【B】 純利用者数(月平均):対前年比+1人
- 【C】 総利用者数(月平均):対前年比+22人
- 【D】 1便当たりの平均乗車人数:対前年比+0.5人
- 【E】 停留所(TOP5):①山村眼科整形 ②昭和病院 ③ベルシャイン
④駒ヶ根駅 ⑤Aコープ駒ヶ根店

【 こまタク 】

- 運行 平日毎日運行（お盆・年末年始除く）、4便/日（往路1便 8:30、往路2便 10:00、復路1便 12:00、復路2便 13:30）の運行
- 停留所 予約により、往路は「自宅から停留所」、復路は「停留所から自宅」へ、乗合による送迎



こまタク運行実績比較(システム導入前後)

資料4-2

【A】利用登録者数(人) 導入前 導入後

エリア	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
アイウ	630	589	632	589	630	596	607	595
エオ	1,100	1,092	1,099	1,094	1,098	1,092	1,058	1,092
計	1,730	1,681	1,731	1,683	1,728	1,688	1,665	1,687

【B】(エリア別)総利用者数(人)

エリア	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
アイウ	204	234	158	183	154	212	154	257
エオ	262	184	179	172	208	151	200	217
計	466	418	337	355	362	363	354	474

【C】(便別)総利用者数(人)

便	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
往1	89	90	65	72	76	81	52	113
往2	194	157	139	135	149	135	157	169
復1	157	129	107	114	109	107	124	141
復2	26	42	26	34	28	40	21	51
計	466	418	337	355	362	363	354	474

【D】実利用者数(人)

エリア	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
アイウ	55	50	43	46	46	56	39	59
エオ	78	55	58	55	71	47	69	66
計	133	105	101	101	117	103	108	125

【E】1便当たり平均乗車人数(人)

エリア	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
アイウ	1.8	3.2	1.6	2.7	1.7	2.9	1.5	3.1
エオ	1.9	2.6	1.5	1.8	1.7	2.3	1.6	2.9
全線	1.8	1.8	1.7	2.8	1.9	1.8	1.6	3.0

【F】運行率(%)

エリア	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月
アイウ	89	98	82	88	83	96	75	95
エオ	83	88	72	80	79	87	75	85
全線	86	93	77	84	81	92	75	90

【H】停留所の利用状況

①共通停留所 総利用者数(人)

停留所名	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月	導入前 計	導入後 計
昭和病院	88	54	47	43	79	57	52	65	266	219
前澤外科内科CL	36	19	15	19	19	26	24	18	94	82
山村眼科整形	125	136	116	143	116	120	110	187	467	586
つちかね整形	21	12	18	13	14	11	22	17	75	53
駒ヶ根駅	31	34	15	11	19	18	27	36	92	99
郵便局	14	8	9	8	8	6	8	3	39	25
市役所	15	10	10	6	9	9	17	8	51	33
文化C	19	0	24	0	19	0	19	0	81	0
ふれあいC	0	0	0	2	0	0	1	1	1	3
Aコープ駒ヶ根	0	29	0	18	0	24	0	22	0	93
ベルシャイン	45	51	44	34	35	27	30	44	154	156
テリシア駒ヶ根店	20	10	10	11	15	15	13	22	58	58
駒ヶ根泌尿器科CL	3	2	1	4	2	0	2	4	8	10
木下医院	4	4	1	2	2	5	1	4	8	15
けやき診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸医院	0	5	0	0	0	6	0	6	0	17
JA駒ヶ根東	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
中沢支所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
すこやかCL	4	3	0	1	3	4	1	4	8	12
マルトシ東伊那	1	3	1	0	1	2	0	3	3	8
東伊那支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋城医院	1	1	3	1	1	2	1	2	6	6
かしの実CL	2	2	3	3	1	1	0	1	6	7
花の道CL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中谷内科医院	0	25	0	0	0	25	0	19	0	69
高山内科CL	0	4	1	3	1	1	1	3	3	11
座光寺内科CL	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
須田医院	1	5	0	4	1	4	1	4	3	17

	R3.12	12月	R4.1月	1月	R4.2月	2月	R4.3月	3月	導入前	導入後
計	430	418	319	327	345	363	330	474	1,424	1,582

【運用状況について】

●予約配車システム導入

- R4.12～
- アプリ・インターネット予約開始

●分析

- アプリで24時間予約可能になった。
- 利用登録から開始までのタイムラグがなくなった。
- 到着時間が予測できるようになった。
- クラウドにより最新情報の管理ができ、データ消失のリスク減になった。
- 8:30、13:30への時間変更により利用者が微増。
- アイウエリアでは利用数増加傾向。
- 車両台数を減らしても全体としては大きく利用者が落ち込まなかった。

●課題

- エオエリアにおいて10時便、12時便の断りが増えている。
- 予約の可否判定や運行順序の組立がオペレーターの感覚にはまだ近づいていない。

運転免許証自主返納支援事業実績

(1) 事業目的

高齢者等による交通事故の減少を図るとともに、公共交通機関の利用を促進するため、運転免許証の自主返納の推進を支援するもの。（平成29年度事業開始）

(2) 事業概要

<対象者>

- ① 駒ヶ根市内に住民登録されている人
- ② 運転免許証の全てを自主返納した人

<支援内容>

こまタク乗車券 1万円分（400円/回×25回分）

(3) 支援状況

【A】男女別

性別	～R02	R03	R04	累計	割合
男性	165	28	30	223	47%
女性	178	43	26	247	53%
計	343	71	56	470	100%

【B】エリア別

地区エリア		～R02	R03	R04	累計	割合
ア	中沢区	39	5	8	52	11%
	下平区（第1・3・4・5・6・11・12）					
イ	東伊那区	33	10	4	47	10%
	下平区（第7・8・9・10・14）					
ウ	市場割区（宮の前・美里を除く）	23	6	3	32	7%
	上赤須区、中沢区吉瀬					
エ	福岡区、北割1区・2区	104	25	15	144	31%
	中割区、南割区					
オ	町1・2・3・4区、市場割区宮の前・美里	144	25	26	195	41%
	上穂町区、小町屋区、下平区第2・13					
計		343	71	56	470	100%

【C】年齢別

年齢層	～R02	R03	R04	累計	割合
～49歳	1	1	0	2	0%
50～59歳	0	0	0	0	0%
60～69歳	8	2	0	10	2%
70～79歳	89	13	11	113	24%
80～89歳	207	43	35	285	61%
90歳～	38	11	10	59	13%
計	343	70	56	469	100%

【D】返納後利用状況

利用状況	～R02			R03			R04			累計		
	交付者数	実利用	割合	交付者数	実利用	割合	交付者数	実利用	割合	交付者数	実利用	割合
登録済・利用経験有	22	13	59%	4	3	75%	2	0	0%	28	16	57%
登録済・利用経験無	37	18	49%	10	5	50%	16	4	25%	63	27	43%
未登録	258	59	23%	57	8	14%	38	8	21%	353	75	21%
計	317	90	28%	71	16	23%	56	12	21%	444	118	27%

令和4年度 割引タクシー券 利用実績

(1) 制度概要

○交付対象者 65歳以上で自動車による交通手段のない市民
「福祉タクシー券」の対象者

○交付枚数

居住地区	交付枚数 ^{※1}	割引額 ^{※2}
竜西	40枚	100円
竜東1	80枚	300円
竜東2	120枚	350円

※1 年度中途の交付枚数は月割計算

※2 タクシー料金500円につき
割り引く金額

(2) 利用者像

①男女別

	人	割合
男	208	23.2%
女	689	76.8%
計	897	100.0%

②年齢別

	人	割合
～39歳	9	1.0%
40～49歳	8	0.9%
50～59歳	24	2.7%
60～69歳	43	4.8%
70～79歳	203	22.6%
80～89歳	479	53.4%
90歳～	131	14.6%
計	897	100.0%

※2022. 3. 31時点の年齢

③地区別

	人(a)	割合	高齢人口(b)	(a/b)
南割	17	1.9%	291	5.8%
中割	32	3.6%	382	8.4%
北割2	48	5.4%	544	8.8%
北割1	74	8.2%	770	9.6%
小町屋	77	8.6%	647	11.9%
福岡	82	9.1%	1,099	7.4%
市場割	52	5.8%	524	9.9%
上赤須	40	4.5%	367	10.9%
下平	34	3.8%	485	7.0%
町1	36	4.0%	345	10.4%
町2	104	11.6%	1,088	9.6%
町3	61	6.8%	464	13.1%
町4	47	5.2%	576	8.2%
上穂町	69	7.7%	583	11.8%
中沢	82	9.1%	997	8.2%
東伊那	42	4.7%	651	6.5%
計	897	100.0%	9,813	9.1%

※2022. 3. 31現在の高齢者人口

(外国人含む、施設入所者除く、市福祉課提供)

(3) 利用実態

【A】 交付者数

	R2	R3	R4	前年比
竜西	1,286	1,265	1,268	100.2%
竜東1	164	174	153	88.0%
竜東2	73	60	53	88.3%
計	1,523	1,499	1,474	98.3%

【B】 利用者数

	R2	R3	R4	前年比
竜西	774	761	773	102.0%
竜東1	86	91	91	100.0%
竜東2	35	31	33	107.0%
計	895	883	897	102.0%

【C】 利用枚数

	R2	R3	R4	前年比
竜西	18,150	17,426	16,563	96.0%
竜東1	4,026	4,021	4,017	100.4%
竜東2	2,515	2,568	2,618	102.1%
計	24,691	24,015	23,198	97.4%

※【市負担額】 R3 : 3,795,600円 ⇒ R4 : 3,777,700円 (前年比▲17,900円)

<まとめ>

【①②】 利用者の7割以上が女性であり、70歳以上の高齢者の利用が9割を占める状況。

【ABC】 交付者数・利用枚数僅かに減少し、利用者数が僅かに増加している。

令和 4 年度 福祉タクシー券 利用実績

(1) 制度概要

- 交付対象者 自動車による交通手段がない次の市民
- ・身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が 1 級又は 2 級の方
 - ・身体障害者手帳の交付を受け、障害の程度が 3 級（視覚障害、平衡機能障害、下肢機能障害、体幹機能障害及び呼吸器機能障害に限る。）の方
 - ・特定疾患受給者証若しくは精神障害者保健福祉手帳若しくは療育手帳の交付を受けた方、又は慢性関節リュウマチの患者
 - ・介護保険の要支援又は要介護認定を受けている方
 - ・65 歳以上の高齢者で市民税非課税世帯の方

○交付枚数

居住地区	交付枚数 ^{※1}	金額 ^{※2}
竜西	12 枚	500 円
竜東 1	24 枚	
竜東 2	36 枚	

※1 年度中途の交付枚数は月割計算

※2 タクシー料金の支払いに使える
1 枚 500 円の金券

(2) 利用実態

【A】交付者数

	R 1	R 2	R 3	R 4	前年比
高齢者	908	920	922	958	100.2%
障がい	156	174	175	161	100.6%
計	1,064	1,094	1,097	1,119	100.3%

	【B】交付枚数			【C】利用枚数			【D】利用率		
	R 3	R 4	前年比	R 3	R 4	前年比	R 3	R 4	前年比
高齢者	12,254	12,145	99.1%	7,071	7,201	102.0%	57.7%	59.3%	+1.6%
障がい	2,243	2,146	96.0%	1,066	1,058	99.2%	47.5%	49.3%	+1.8%
計	14,497	14,291	98.0%	8,137	8,259	101.4%	56.1%	57.8%	+1.7%

※【市負担額】 R 3 : 4,068,500 円 ⇒ R 4 : 4,129,500 円 (前年比+61,000 円)

<まとめ>

- 交付枚数は減少しているが、利用枚数及び利用率は増加。
- 市負担額は、割引・福祉タクシー券合わせて、43,100 円増加。

(1) 地域公共交通網の整備に関する目標

目標 1-1 こまタク運行エリアによる人口カバー率

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
施策対象人口／全人口	100%	100%	◎
コメント こまタク運行範囲は全市域を網羅しており目標を達成しているため「◎評価」とする。			

目標 1-2 市街地巡回系システムの運行

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
—	計画期間内に運行開始	検討中	△
コメント 令和3～4年度は1-3の山麓周遊システムの実証に注力するものとし、市街地巡回系システムについては具体的な取り組みは行っていないため「△評価」とする。ただし、市内での協議は継続しており、令和4年度に昭和伊南病院の移転が決まったことから、これを取り込んだ新たな仕組みを検討中である。			

目標 1-3 山麓周遊系システムの運行

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
—	計画期間内に運行開始	実証実験	○
コメント 令和3年度のグリーンスローモビリティの実証実験が狭いエリア限定であったという課題を受け、令和4年度は山麓エリア全体の二次交通として機能する交通手段として、電気バスによる周遊バスの実証を行った。本格運行には至っていないものの、計画に沿って進んでいるため「○評価」とする。			

目標 1-4 通学困難世帯の補助対象区域にある高校生世帯への支援実施率

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
支援実施世帯数／対象地区世帯数	80%以上	調整中	△
コメント 実施内容について市内で調整中。運用には至っていないため「△評価」とする。			

(2) 地域公共交通の利用実績に関する目標

目標 2-1 こまタクの登録者数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
登録者数データ	基準年(R2)から2%ずつ増 1,744名	1,687人 前年比32人増(+1.9%) 達成率97%	△
コメント 毎日運行化による利便性の向上ならびに運転免許証自主返納支援事業等の効果で、利用者の減少が続くなかでも登録者数自体は増加傾向が続いていたが、令和3年度には減少に転じた。しかし、令和4年度には再び増加傾向となっている。ただし、目標値に対しては達成率97%で到達には至らず、「△評価」とする。令和4年度より、新しい予約配車システムが導入されたこともあり、利便性の向上による登録者数の向上を目指していく。			

目標 2-2 こまタクの利用者数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間利用者数データ	基準年(R2)から2%ずつ増 5,344名	5,019名 前年比363名増(+7.8%) 達成94%	△
コメント 令和2～3年度はコロナ禍により、利用者が大きく減少していたが、令和4年度はやや戻りつつあり、前年度比約8%の増加となった。それでも目標値に対する達成度は94%であるため、「△評価」とする。いずれにしても、令和2～4年度はコロナ禍という特殊な状況下であり、評価は暫定的な位置づけとする。			

目標 2-3 こまタクの稼働率

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間運行実績データ	80%[日4便の運行形態において]	85.2% 前年比+4.3ポイント	○
コメント 令和3年度はコロナ禍により稼働率も低下し、80.9%となっていたが、令和4年度は回復し、85%を超える結果となった。目標値とした80%を上回ったため「○評価」とするが、コロナ前の平成30年度にはこれまでで最高の93%に達しており、今後も向上させていくことが求められる。なお、令和3年度より新しく導入した予約配車システムに伴う固定ダイヤの見直しが行われた際には、数値目標を改めることを見込んでいる。			

目標 2-4 こまタクの収支率

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間運行実績データ	基準年(R2)から2%ずつ増 8.8%	7.0% 前年比-0.9%	△
コメント	目標2-2、2-3に示した通り、こまタクの利用者数が増加し、稼働率も令和3年度に比べて増加しているが、収支率については、減少している。これは委託費用等の基準に変更に伴うものでもあるが、利用者数の増加に対して、収入の増加が呼応していない面もみられ、新しい予約配車システムの導入によって、乗合率を向上させ、収支率も向上できるよう努めていくことが求められる。		

目標 2-5 割引タクシー券の利用枚数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間利用者数データ	基準年(R2)から2%ずつ増 25,689名	23,198枚 前年比-817枚(-3.4%) 達成率90%	△
コメント	割引タクシー券の利用枚数は、前年比で約3%の減となり、5年連続の減少となった。こまタクの利用が戻りつつあるなかで、割引タクシー件の利用は低調な状態が続いている。目標値に対する達成率は90%で、昨年度の達成率が95%だったことからみても、状況は芳しくなく「△評価」とする。いずれにしても、令和2～4年度はコロナ禍という特殊な状況下にあり、評価は暫定的な位置づけとする。		

目標 2-6 駒ヶ岳ロープウェイ線の利用者数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間利用者数データ	基準年(R1)から1.2%増 (5ヶ年で3%増) 174,676人	150,921人 前年比38,887人増(+34%) 達成率86%	△
コメント	コロナ禍で観光産業、公共交通機関ともに厳しい状況となっているが、駒ヶ岳ロープウェイ線はこれらを兼ねた位置づけの路線でもあり、利用実績としては令和2～3年度に引き続き厳しいものとなっている。目標値はコロナ禍直前の令和元年度のを基準としているが、達成率は86%となっている。目標には達していないものの、令和2年度比+53%、令和3年度比+34%と着実に回復しつつあり、今年度以降のさらなる回復を期待する。		

目標 2-7 市民全体でのJR飯田線の利用頻度「月1回以上利用」

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
計画策定に係る 市民アンケート調査	9%(5ヶ年維持)	当年度調査なし	—
コメント	網形成計画における指標を継続している。前回令和2年度の調査ではコロナ禍のため4%と、目標値を大きく割り込んでいる。令和4年度は調査を行っていないため、未評価。		

目標 2-8 市民全体での高速バスの利用頻度「月1回以上利用」

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
計画策定に係る 市民アンケート調査	8%(5ヶ年維持)	当年度調査なし	—
コメント	網形成計画における指標を継続している。前回令和2年度の調査ではコロナ禍のため3%と、目標値を大きく割り込んでいる。令和4年度は調査を行っていないため、未評価。		

(3) 観光振興に対する目標

目標 3-1 観光乗合タクシーの事業化

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
販売実績データ	計画3年目までに事業化	未実施	×
コメント 事業の実施主体となることを見込んでいる伊南DMOがまだ設置されていない状況にある。当初想定した観光乗合タクシーの事業の進捗も滞っているが、旅館によるタクシー送迎事業などが進んできており、これらとの連携も見据えていくものとする。			

目標 3-2 観光乗合タクシーの利用者数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間利用者数データ	事業初年度50組 以降前年比5%増	未実施	—
コメント 上述の通り。本指標については、事業化した段階で測るものとするため、令和4年度は未評価とする。			

(4) 地域公共交通の利用促進・意識醸成に関する目標

目標 4-1 公共交通フォーラム・イベント開催回数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間開催回数	毎年1回以上	実施	◎
コメント 令和4年度は、公共交通の利用促進の一環として、広報啓発事業としてケーブルテレビで公共交通の乗り方案内などに関する番組を制作し、8月下旬に放映した。イベントの実施とは異なるが、コロナ禍で集会等が難しかったなかでの適切な手法といえ、「◎評価」とする。			

目標 4-2 住民意見交換会開催回数

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
年間開催回数	毎年5回以上	未実施	×
コメント 令和4年度は、令和2～3年度に引き続きコロナ禍で、市としての集会・イベント等は控える状況にあった。とくに利用促進の対象になる高齢者層については感染による重症化リスクが大きいことから実施は見送った。評価は暫定的なものとなるが「×」とする。			

目標 4-3 公共交通を住民が支えていく意識

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
計画策定に係る市民アンケート調査	「地域住民で負担してサービス保持」という回答30%以上	当年度調査なし	—
コメント 網形成計画における指標を継続している。前回令和2年度の調査では31%と目標値を上回っている。令和4年度においては調査を行っていないため、未評価。			

(5) 地域公共交通の維持・持続性担保に関する目標

目標 5-1 公共交通関連の行政負担額

使用するデータ	数値目標	達成状況	評価
各年度普通会計決算	3,800万円以内	3,833万円 前年比+3.4%	○
コメント 市の主たる公共交通施策であるこまタクの運行事業費のほか、その他の付帯事業や会議費などを合計した公共交通関連の年間費用で令和4年度は3,833万円となった(EVバス実証、新システム実証は除く)。目標額を若干超えてはいるが、概ね目標額程度であり、「○評価」とする。			

評価の考え方

◎	数値目標を達成し効果があった
○	数値目標は達成したが改善が求められる
△	数値目標が達成できなかった
×	数値目標を著しく下回った/事業等が実施できなかった

駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務委託契約（案）

1. 委託業務名

令和 5 年度 駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務

2. 業務期間

契約の日から令和 6 年 3 月 19 日

3. 委託業務目的

本業務は、令和 2 年度に策定した駒ヶ根市地域公共交通計画に基づき、計画に位置づけられた事業の推進及び評価検証を行う。

4. 委託業務内容

(1) 計画の評価検証

地域公共交通計画に位置づけた目標値、評価手法に則り、令和 4 年度に実施した各種事業の評価検証を行う。

(2) 山麓周遊バス実証実験の評価

① 評価及び調査手法の検討

令和 5 年度に実施予定の山麓周遊バス実証実験にあたり、必要となるデータの種類やその取得方法などを検討する。

② アンケート調査票の作成

①の検討に基づき、山麓周遊バスの利用者に対して実施するアンケート調査の調査票を作成する。アンケート調査はバス車内での 300 票の配布を見込み、50%程度の回収を見込むものとする。また、インターネットによる回答にも対応させる。

③ 事業者ヒアリング

バス運行事業者及び沿道施設の関係事業者等に対して、実証における現場の状況、問題点、今後の課題等についてヒアリング調査を実施する。

④ データ集計分析

②③のデータのほか、発注者から提供される運行期間の利用実績などをもとに、利用特性や利用者及び関係者の意見要望などを集計分析する。

⑤ 報告書の作成

④の結果を受けて実証実験における課題や今後の対応について検討する。

⑥ 報告書作成

山麓周遊バス実証実験における評価検証報告書を取りまとめる。

(3) 病院移転に伴うアクセス方法の検討

移転が決まった昭和伊南総合病院へのアクセス方法について、既定計画等から想定される手法を提示したうえで、次年度以降に必要と見込まれる調査方法や調整事項などを整理する。

(4) 地域公共交通会議の運営支援

(1)～(3)で作成した報告資料等を駒ヶ根市地域公共交通協議会に提示する。また、会議に出席し、必要に応じて資料説明や質疑応答などの対応を行う。

5. 業務工程

本業務は、以下工程で行う。

項目	令和5年												令和6年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1) 計画の評価検証	●														
(2) 山麓周遊バス実証実験の評価															
(3) 地域公共交通会議の運営支援			●					●							●

6. 見積依頼先とする指名業者の選定

(1) 下記理由により、特定非営利活動法人SCOPと随意契約することとしたい。

理由 当業務の実施にあたり、計画策定に係る業務を受託しており、当市の公共交通に精通し、また、市民アンケートやヒアリング調査など蓄積されたデータについても熟知しているため、効率的かつ効果的な業務遂行が期待できる。

(2) 指名業者概要

業者 特定非営利活動法人SCOP 理事 鷲見真一
松本市中央2丁目3番17号 知新堂ビル3階A

実績 平成27年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の策定に係る調査業務(プロポーザルによる)
平成28年度駒ヶ根市地域公共交通の事業推進に係る支援業務(随意契約)
平成29年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画推進事業委託業務(随意契約)
平成30年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく業務支援委託業務(随意契約)
令和元年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく業務支援委託業務(随意契約)
令和2年度駒ヶ根市地域公共交通網形成計画策定及び事業支援委託業務(随意契約)
令和3年度駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務(随意契約)
令和4年度駒ヶ根市地域公共交通計画推進支援業務(随意契約)

参考 駒ヶ根市物品購入等競争入札参加有資格
営業種目「調査・分析・診断業務」「広告・宣伝」「企画・立案・製作」の登録有

(3) 契約先の決定方法

- ① 指名業者に業務仕様書を提示し、見積書を徴収する。
- ② 事務局により別途設定する予定価格と見積を比較の上、予定価格の範囲内であれば、当該業者との間で、業務委託を締結する。

7. 契約締結後について

速やかに当該業務に着手することとし、協議会へ事業実施状況等を報告する。
契約期間は、契約締結日から令和6年3月19日までとする。

駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画
(地域内フィーダー系統確保維持計画を含む)

令和5年6月30日

(名称) 駒ヶ根市地域公共交通協議会
(代表者名) 駒ヶ根市長 伊藤 祐三

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

【地域公共交通の課題】

駒ヶ根市の公共交通網は、隣接する伊那市や飯田市等へ通じる唯一の幹線交通であるJR飯田線や中央自動車道を利用した高速バスを軸に、幹線交通に通じる支線の役割を果たしている「こまちゃんバス」(定時定路線、運行母体：駒ヶ根市地域公共交通協議会)、JR駒ヶ根駅と駒ヶ岳ロープウェイとの間を往復する民営路線バスから成り立っていた。

平成21年度に実施した住民意向調査では、市民の74.5%が「こまちゃんバス」に対して改善を求めており、特に交通弱者の中心である高齢者は、「自宅近くの運行」「増便」「デマンド方式の導入」を求めており、「こまちゃんバス」は市内移動手段としての役割を果たしていない状況であった。

「こまちゃんバス」は、都市の郊外化の進展に伴い、幅広い出発地と目的地に対応できず、以下の課題を抱えていたため、平成25年5月をもって運行を終了した。

- ・利用者数の減少(毎年10%づつ減少)
- ・交通空白/不便地域の存在
- ・利用者要望を充足する路線/ダイヤ拡大や運賃収入の減少による財政負担の増加

【目的・必要性】

上記課題を解決し、以下に示す地域公共交通を実現するため、平成25年10月から「こまがねデマンド型乗合タクシー」(通称「こまタク」)の本格運行を開始した。

- ・交通空白/不便地域を解消する交通
- ・都市形態や高齢者を中心とした交通弱者のニーズに即した有効的な交通
- ・無駄がなく効率的な交通
- ・市民と行政との応分の負担による持続可能な交通

高齢者を中心とした交通弱者の通院や買い物等の生活を支える地域公共交通(「こまタク」)を確保・維持していくため、令和3年度よりスタートしている駒ヶ根市地域公共交通計画の内容に沿い、地域公共交通確保維持事業に取り組むことが必要である。

(駒ヶ根市地域公共交通計画 P68参照)

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

日常生活に必要な移動を満たし、持続可能性のある地域公共交通として下記3点を目標とする。

- ・こまタク利用者数 4,931人以上(直近年度R3.10~R4.9の実績4,834人に対して2%増加)
- ・収支率 8.1%以上(直近年度の実績7.9%に対して0.2%上昇)
- ・駒ヶ根市の財政負担 3,800万円以内

(駒ヶ根市地域公共交通計画 P79 参照)

<p>(2) 事業の効果</p> <p>「こまタク」を運行・維持することにより、高齢者を中心とした交通弱者の日常生活（通院や買い物等）に必要な移動手段を「有効的^{※1}」かつ「効率的^{※2}」に確保することができるとともに、外出促進・地域活性化に繋がる。</p> <p>※1 要望の多い「自宅近くの運行」が完全に実現（交通空白／不便地域の完全解消）される。</p> <p>※2 予約制により「予約がない場合は運行しない」、「予約に応じた経済路線の設定」が可能となる。</p>
<p>3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体</p>
<p>(1) 公共交通運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまタクの平日毎日運行の継続（駒ヶ根市・事業者） ・バス部会・タクシー部会での改善策検討（駒ヶ根市・事業者） <p>(2) 交通不便者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者関連部署と連携した割引タクシー券・福祉タクシー券の交付（駒ヶ根市） ・免許返納者への支援策の実施（駒ヶ根市） <p>(3) 利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティマネジメントにつながる広報の実施（駒ヶ根市） （駒ヶ根市地域公共交通計画 P72～P74 参照）
<p>4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者</p>
<p>（記載例）</p> <p>表1を添付。</p>
<p>5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額</p> <p>駒ヶ根市から運行事業者への補助金額については、運行収入を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。</p>
<p>6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数や利用者数について、数値指標による評価を実施 ・地域公共交通協議会としての収支決算による評価を実施
<p>7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p> <p>※該当なし</p>
<p>8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p> <p>※該当なし</p>
<p>9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項</p> <p>【地域間幹線系統のみ】</p>

※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
(記載例) 表5を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論

<平成29年度>

- 平成29年 6月19日(第1回) H30 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成29年12月 8日(第2回) 「こまタク」利用促進策
- 平成30年 3月20日(第3回) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

<平成30年度>

- 平成30年 6月21日(第1回) H31 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 平成30年12月17日(第2回) 市民アンケート調査報告、駒ヶ根駅前広場整備の状況

- 平成31年 3月26日(第3回) 駒ヶ岳ロープウェイ線の試運転結果

<令和元年度>

- 令和元年 6月28日(書面協議) R02 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 令和元年 6月28日(第1回) いいちゃんバス市内沿線停留所設置予定地の承認
- 令和元年12月20日(書面協議) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

<令和2年度>

- 令和2年 7月 9日(第1回) R03 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 令和2年10月27日(第2回) 公共交通アンケート結果、公共交通計画
- 令和2年12月22日(第3回) 網形成計画評価、公共交通計画素々案
- 令和3年 3月22日(第4回) 次年度事業計画、公共交通計画策定

<令和3年度>

- 令和3年 7月 1日(第1回) R04 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 令和3年12月16日(書面協議) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

<令和4年度>

- 令和4年 6月23日(書面協議) R05 地域内フィーダー系統確保維持計画の承認
- 令和4年12月14日(書面協議) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価

19. 利用者等の意見の反映状況

- H29 アンケート調査実施(対象者:登録者 調査内容:利用状況、各施策評価など)
【期間】H30.02.02~H30.02.16 【回答率(利用者)】66.2%(回答者163名/対象者246名)
【回答率(非利用者)】33.9%(回答者375名/対象者1,106名)
- H30 アンケート調査実施(対象者:市民 調査内容:公共交通利用形態、意識・ニーズなど)
【期間】H30.08.15~H30.09.10 【回答率】46.2%(回答者462名/対象者1,000名)
- R2 アンケート調査実施(対象者:市民 調査内容:公共交通利用形態、意識・ニーズなど)
【期間】R02.07.18~R02.08.05 【回答率】36.0%(回答数1,079/対象数3,000)

上記アンケート等実施後、地域公共交通協議会にて議論の上、必要に応じ運行内容等の変更を実施。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 長野県駒ヶ根市赤須町20-1

(所属) 総務部企画振興課

(氏名) 唐澤 恵介

(電話) 0265-83-2111 内線242

(e-mail) kizai@city.komagane.nagano.jp

いいちゃんバス病院線 乗降者数（令和4年度計）

（人）

	停留所	1便		2便		3便		4便		計		
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	計
往 路	飯島駅	316	0	146	0	83	0	59	0	604	0	604
	商工会	0	0	37	0	3	0	3	0	43	0	43
	生協ケアセンター いいじま	36	3	33	33	22	2	7	2	98	40	138
	下平石材店 前	6	0	1	1	1	1	0	1	8	3	11
	追引	22	0	9	1	4	0	0	1	35	2	37
	道の駅田切の里	37	1	3	3	0	5	0	1	40	10	50
	田切体育館 （要予約）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田切体育館北 （要予約）	21	0	3	0	0	0	0	0	24	0	24
	田切信号	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	福岡辻沢	220	0	17	10	7	6	1	5	245	21	266
	福岡公道館東	7	0	21	1	19	1	3	1	50	3	53
	海外協力隊入口信号東	1	8	5	2	2	0	0	2	8	12	20
	昭和伊南総合病院	0	656	0	225	1	125	1	60	2	1,066	1,068
	計	668	668	275	276	142	140	74	73	1,159	1,157	

復 路	昭和伊南総合病院	324	0	344	0	120	0	187	0	975	0	975
	海外協力隊入口信号東	2	4	0	0	0	4	0	1	2	9	11
	福岡公道館東	0	0	22	6	1	8	0	3	23	17	40
	福岡辻沢	0	7	2	42	7	11	5	98	14	158	172
	田切信号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田切体育館北 （要予約）	0	1	0	35	0	0	0	0	0	36	36
	田切体育館 （要予約）	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	3
	道の駅田切の里	0	8	3	19	2	5	2	3	7	35	42
	追引	2	1	1	5	2	4	0	0	5	10	15
	下平石材店 前	0	2	0	2	1	2	0	1	1	7	8
	生協ケアセンター いいじま	1	184	4	45	0	20	0	18	5	267	272
	商工会	0	6	0	29	0	7	0	7	0	49	49
	飯島駅	0	115	0	193	0	72	0	63	0	443	443
	計	329	329	376	378	133	133	194	194	1,032	1,034	

市内3バス停の状況

	乗車数計	降車数計	乗降者数計
病院行	303	36	339
飯島駅行	39	184	223
計	342	220	562

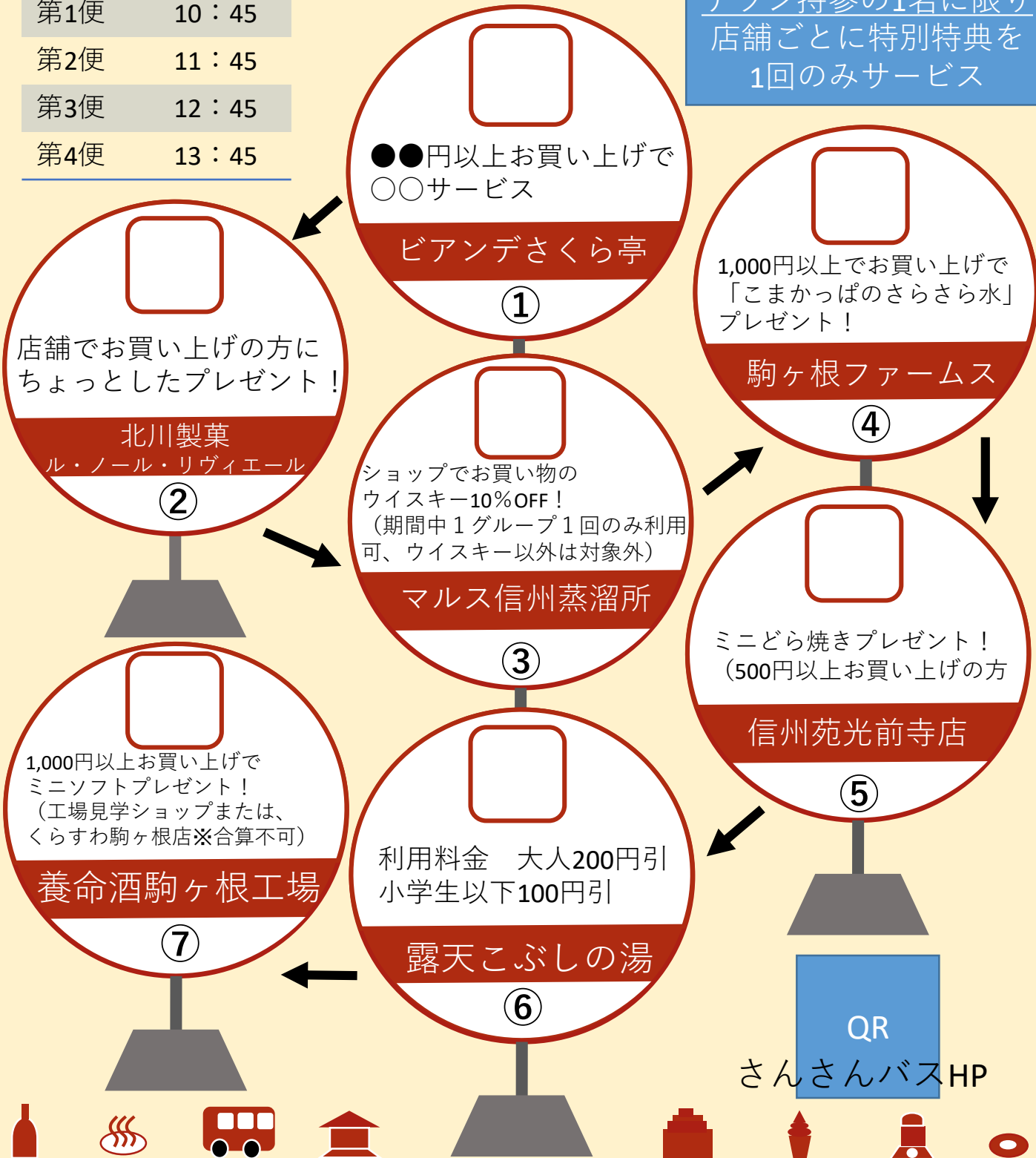
※R3
522

特別優待券

1日4便 出発時刻

第1便	10:45
第2便	11:45
第3便	12:45
第4便	13:45

チラシ持参の1名に限り
店舗ごとに特別特典を
1回のみサービス



■令和5年度山麓周遊バス社会実証実験事業

資料12-2

運行者：駒ヶ根市地域公共交通協議会
委託者：こまくさ観光株式会社

期間 7月1日(土)～10月31日(火)
運賃 1乗車：大人200円、小学生以下半額、就園前無料
1日乗車券：大人500円、小学生以下半額、就園前無料

○バス全景(ラッピング状況)



○リーフレット

中央アルプス 山麓周遊 さんさんバス
 1日乗車券 大人 500円 小人 250円
 1回乗車券 大人 200円 小人 100円
 時刻表
 停留所 第1便 第2便 第3便 第4便
 ① ピアンデさくら亭 10:45 11:45 12:45 13:45
 ② 北川製菓 10:53 11:53 12:53 13:53
 ③ マルス信州蒸溜所 10:56 11:56 12:56 13:56
 ④ 駒ヶ根ファームス 11:02 12:02 13:02 14:02
 ⑤ 光前寺 11:06 12:06 13:06 14:06
 ⑥ 露天こぶしの湯 11:11 12:11 13:11 14:11
 ⑦ 養命酒 駒ヶ根工場 11:23 12:23 13:23 14:23
 ⑧ ピアンデさくら亭 11:34 12:34 13:34 14:34

○停留所看板

中央アルプス山麓周遊 KOMAGANE さんさんバス
時刻表
 1周約60分
 第1便 10:45
 第2便 11:45
 第3便 12:45
 第4便 13:45
 駒ヶ根市地域公共交通協議会
 お問い合わせ先 こまくさ観光株式会社 TEL.0265-98-7044

○停留所案内板

中央アルプス 山麓周遊 KOMAGANE さんさんバス
ピアンデさくら亭

SO・RA・TO・KI 中央アルプス山麓周遊
ピアンデさくら亭
北川製菓
マルス信州蒸溜所
養命酒 駒ヶ根工場
駒ヶ根ファームス
光前寺
露天こぶしの湯
駒ヶ根高原 周遊ルートMAP